



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東  
コード番号 6033 URL <https://www.e-xtreme.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 島田 善教 TEL 03-6673-8535  
定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	10,217	15.9	1,097	7.1	1,448	23.3	1,034	27.0
2023年3月期	8,816	21.9	1,024	73.0	1,174	64.5	814	79.9

(注) 包括利益 2024年3月期 1,194百万円 (44.7%) 2023年3月期 825百万円 (68.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	188.02	187.85	21.9	18.6	10.7
2023年3月期	148.18	147.76	21.0	19.3	11.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 27百万円 2023年3月期 27百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	8,487	5,821	61.5	948.81
2023年3月期	7,118	4,825	59.4	768.47

(参考) 自己資本 2024年3月期 5,219百万円 2023年3月期 4,227百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	761	407	△42	3,532
2023年3月期	1,006	△855	414	2,346

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	165	20.2	4.3
2025年3月期 (予想)	—	—	—	26.00	26.00	209	20.2	4.4

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	7.7	1,000	△8.9	1,050	△27.5	710	△31.4	129.06

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	5,502,376株	2023年3月期	5,502,376株
2024年3月期	868株	2023年3月期	868株
2024年3月期	5,501,508株	2023年3月期	5,496,355株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	6,867	10.2	533	△30.4	949	3.5	744	8.2
2023年3月期	6,232	9.2	767	45.1	917	36.5	688	55.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	135.30	135.17
2023年3月期	125.21	124.85

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	6,974	4,892	69.9	885.70
2023年3月期	5,951	4,189	70.2	758.92

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、国際的な地域紛争に起因する資源価格の高騰、世界的な金融引締めや急激な為替変動等、経済環境は先行き不透明な状況が続きました。わが国経済においては、このところ一部に足踏みが見られるものの、個人投資や設備投資等が緩やかに持ち直しており、先行きについても、各種政策の効果もあって、景気の緩やかな回復が続くことが期待されています。

一方、当社グループが提供する各種サービスにおいては、これらの影響を直接的に受けることはなく、技術ソリューションを提供する「デジタル人材事業」、ゲーム・各種システム開発などを請け負う「受託開発事業」、当社が保有するゲームタイトル等の使用許諾を行う「コンテンツプロパティ事業」を展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は10,217,437千円（前年同期比15.9%増）、営業利益は1,097,380千円（前年同期比7.1%増）、経常利益は1,448,825千円（前年同期比23.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,034,396千円（前年同期比27.0%増）となりました。

次に事業別状況について説明致します。

#### <デジタル人材事業>

デジタル人材事業は、主にゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が直接顧客企業に常駐し、派遣契約または請負契約にて開発業務を行っております。

当連結会計年度においては、企業のDX推進などによる技術ソリューションに対する旺盛な需要を背景に、新規・既存案件とも受注が好調に推移し、稼働プロジェクト数は9,052（前年同期稼働プロジェクト数は8,143）となりました。一方で、国内におけるIT技術者不足に起因する技術社員の採用競争の激化にも直面しており、外部協力会社の開発要員への依存度が高まりつつあります。

この結果、当連結会計年度における売上高は6,122,748千円（前年同期比12.5%増）、セグメント利益は874,812千円（前年同期比7.8%減）となりました。

#### <受託開発事業>

受託開発事業は、主にデジタル人材事業または当社グループ各社の顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリまたはWEB開発案件、大規模会員向けプラットフォームシステムの構築～導入～運用などの案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規開発」「保守開発」「追加開発」「ラボ型開発」の4つに大別されます。子会社の株式会社エクストラボ、EXTREME VIETNAM Co., LTD.、株式会社E P A R Kテクノロジーズ、エス・エー・エス株式会社、酒田エス・エー・エス株式会社については当該事業に含まれます。

当連結会計年度においては、企業のデジタル施策への投資拡大を背景に売上高、営業利益ともに順調に推移しました。受注増加や案件規模の拡大が開発リソースの効率化に寄与し、収益性が大幅に向上しております。

この結果、当連結会計年度における売上高は3,919,313千円（前年同期比19.6%増）、セグメント利益は664,578千円（前年同期比72.2%増）となりました。

#### <コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社グループが保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム開発・販売・運営のほか、当社グループが保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。子会社の株式会社D r a g a m i G a m e sについては当該事業に含まれます。

当連結会計年度においては、当社がライセンス許諾したスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』のゲーム販売額に応じたロイヤルティ収益が発生した他、当社保有の知的財産権のライセンスアウトによる収益が発生しております。また、株式会社D r a g a m i G a m e sのゲーム販売の収益が発生しております。

この結果、当連結会計年度における売上高は416,021千円（前年同期比19.0%減）、セグメント利益は286,593千円（前年同期比21.1%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (総資産)

当連結会計年度末における総資産は、8,487,530千円となり、前連結会計年度比1,368,636千円の増加（前連結会計年度比19.2%増）となりました。これは主に、現金及び預金が728,516千円、仕掛品が115,829千円及び、有価証券が202,333千円、投資有価証券が70,357千円、長期前払費用が96,473千円それぞれ増加したことによるものです。

## (負債)

当連結会計年度末における負債は、2,666,215千円となり、前連結会計年度比372,783千円の増加（前連結会計年度比16.3%増）となりました。これは主に、短期借入金が200,000千円、未払金が162,343千円それぞれ増加したことによるものです。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産は、5,821,314千円となり、前連結会計年度比995,852千円の増加（前連結会計年度比20.6%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、利益剰余金が869,351千円増加したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末と比べ1,185,238千円増加し、3,532,031千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は761,552千円（前連結会計年度は1,006,897千円の収入）となりました。これは、主に法人税等の支払額438,577千円などがあったものの、未払金の増加164,573千円、税金等調整前当期純利益1,448,825千円などにより資金獲得したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は407,993千円（前連結会計年度は855,018千円の支出）となりました。これは、主に定期預金の預入による支出600,190千円などがあったものの、定期預金の払戻による収入963,165千円などにより資金獲得したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は42,779千円（前連結会計年度は414,931千円の収入）となりました。これは、主に短期借入金の増加額200,000千円があったものの、配当金の支払額164,858千円、非支配株主への配当金の支払額39,361千円などにより資金使用したことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	59.4	61.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	102.9	88.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	73.7	118.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	437.7	242.9

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用

しております。

5. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

引き続き「まじめに面白いを創る会社。未来の楽しいを造る会社。」を企業コンセプトに、「クリエイター&エンジニアのプロダクションカンパニー」を標榜し、「デジタル人材事業」「受託開発事業」「コンテンツプロパティ事業」を有機的に結び付けることで、経営基盤の安定化を確保しながら、高い成長性を実現すべく、スピード・クオリティ・チャレンジの行動指針を常に実行しながら事業展開を図ってまいります。

具体的な今後の見通しについては以下のとおりであります。

##### (売上高)

デジタル人材事業については、部門毎の前期末稼働プロジェクト数をベースに、当期採用予定数及び離職率予想などを勘案して算出し、合理的な積み上げ予測に基づいて推定される収益を予想値としております。

受託開発事業については、前期における受注実績をベースに、新規・保守案件に大別し、新規案件は期末時点での受注済み案件及び受注確度が高い案件の積み上げにより、予想値を算出しております。保守案件については、前期末時点において継続中の案件及び1契約当たりの契約金額を抽出し、その積み上げによって予想値を算出しております。

コンテンツプロパティ事業につきましては、前期におけるライセンス許諾ロイヤルティ実績及びライセンシーの独自予測及びゲームソフト販売実績等を参考に算出した数値を予想値としております。

以上の取り組みにより、売上高は11,000百万円(前年同期比7.7%増)を見込んでおります。

##### (営業利益)

営業利益につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費を踏まえて算出した金額を予想値としております。

デジタル人材事業及び受託開発事業における売上原価につきましては、1プロジェクト当たりの受注金額に対する労務費割合を主要な原価として見積もり算出しております。コンテンツプロパティ事業における売上原価につきましては、過去実績値を元に、プロジェクトに係る労務費、外注加工費、支払手数料、通信費等を算定しております。

デジタル人材事業及び受託開発事業における販売費及び一般管理費につきましては、営業社員の労務費、テレビCMなどの宣伝費、年間採用計画に基づいた採用媒体への広告費及び人材紹介会社への人材紹介手数料などを勘案し、算出しております。

コンテンツプロパティ事業における販売費及び一般管理費につきましては、過去実績値を元に広告宣伝費、決済手数料、プラットフォーム手数料等をベースに予想値を算出しております。減価償却費については、ソフトウェアの開発計画、固定資産の取得予定等、設備投資計画に基づき発生する費用を見積もり、予想値を算出しております。

以上の取り組みにより、営業利益は1,000百万円(前年同期比8.9%減)を見込んでおります。

##### (経常利益)

経常利益につきましては、当期に発生が見込まれる営業外収益及び営業外費用を勘案し、予想値を算出しております。営業外収益については、投資有価証券等による有価証券利息の発生を見込んでおります。営業外費用については、借入金による支払利息の発生を見込んでおります。

以上の取り組みにより、経常利益は1,050百万円(前年同期比27.5%減)を見込んでおります。

##### (親会社株主に帰属する当期純利益)

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、予想値を算定する上で発生が見込まれる特別損益及び税金等調整前当期純利益の予想値に基づき算出した法人税、住民税及び事業税を勘案して算出した金額を予想値としており、710百万円(前年同期比31.4%減)を見込んでおります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識するとともに、将来の事業展開と経営体質強化のために、内部留保を確保しつつ、財政状態及び業績動向等、経営状態を総合的に判断して利益配当を行っていく方針であります。

具体的には、年1回の期末配当とし、親会社株主に帰属する当期純利益の20%を配当性向の目安として、業績に応じた配当を実施してまいります。

上記の方針に基づき当期の剰余金の配当は、1株当たり普通配当38円としております。次期の配当につきましては、次期の連結業績予想を勘案し、1株当たり普通配当26円としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本国内で事業展開していること、及び同業他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえ、当面は日本基準を採用することとしております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応してまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,207,411	3,935,928
受取手形	—	570
売掛金	1,366,665	1,419,549
契約資産	—	553
有価証券	6,573	208,906
製品	2,136	128
仕掛品	257,684	373,513
前払費用	106,808	148,267
その他	65,404	157,018
貸倒引当金	△920	△537
流動資産合計	5,011,765	6,243,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,829	105,220
減価償却累計額	△44,839	△55,124
建物及び構築物(純額)	55,990	50,095
車両運搬具及び工具器具備品	157,350	187,485
減価償却累計額	△137,723	△152,777
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	19,627	34,708
有形固定資産合計	75,617	84,804
無形固定資産		
ソフトウェア	55,640	70,550
ソフトウェア仮勘定	—	1,517
のれん	218,695	185,476
無形固定資産合計	274,336	257,543
投資その他の資産		
投資有価証券	1,287,101	1,357,458
関係会社株式	163,349	190,433
長期前払費用	53,786	150,259
繰延税金資産	88,086	71,548
破産更生債権等	7,367	8,527
その他	164,850	131,582
貸倒引当金	△7,367	△8,527
投資その他の資産合計	1,757,173	1,901,283
固定資産合計	2,107,128	2,243,631
資産合計	7,118,893	8,487,530



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	650,000	850,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	28,560	28,560
未払金	868,577	1,030,921
未払費用	102,796	131,345
未払法人税等	272,248	247,021
未払消費税等	125,375	96,845
賞与引当金	134,250	155,053
受注損失引当金	—	18,899
その他	25,831	54,444
流動負債合計	2,217,638	2,623,091
固定負債		
社債	15,000	5,000
長期借入金	38,160	9,600
退職給付に係る負債	6,813	13,354
繰延税金負債	15,819	15,170
固定負債合計	75,793	43,124
負債合計	2,293,432	2,666,215
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	419,451	419,451
資本剰余金	413,258	413,258
利益剰余金	3,393,096	4,262,447
自己株式	△1,159	△1,159
株主資本合計	4,224,647	5,093,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,350	105,839
為替換算調整勘定	15,424	20,053
その他の包括利益累計額合計	3,074	125,892
新株予約権	14,669	20,274
非支配株主持分	583,070	581,148
純資産合計	4,825,461	5,821,314
負債純資産合計	7,118,893	8,487,530

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	8,816,012	10,217,437
売上原価	6,311,180	7,320,512
売上総利益	2,504,832	2,896,924
販売費及び一般管理費	1,480,649	1,799,544
営業利益	1,024,182	1,097,380
営業外収益		
受取利息	12,879	51,493
有価証券利息	62,598	60,655
為替差益	44,414	181,950
助成金収入	1,960	1,160
投資有価証券売却益	1,455	30,864
持分法による投資利益	27,862	27,084
受益権売却益	3,391	4,466
その他	5,920	5,867
営業外収益合計	160,482	363,541
営業外費用		
支払利息	1,943	2,820
社債利息	41	74
支払手数料	3,756	6,793
投資有価証券売却損	58	—
消費税差額	770	—
その他	3,251	2,408
営業外費用合計	9,821	12,096
経常利益	1,174,844	1,448,825
特別利益		
新株予約権戻入益	14,669	—
特別利益合計	14,669	—
特別損失		
固定資産除却損	3,651	—
特別損失合計	3,651	—
税金等調整前当期純利益	1,185,862	1,448,825
法人税、住民税及び事業税	301,652	413,261
法人税等調整額	40,705	△36,272
法人税等合計	342,358	376,988
当期純利益	843,504	1,071,836
非支配株主に帰属する当期純利益	29,042	37,439
親会社株主に帰属する当期純利益	814,462	1,034,396

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	843,504	1,071,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,792	118,190
為替換算調整勘定	31	4,628
その他の包括利益合計	△17,760	122,818
包括利益	825,744	1,194,654
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	796,702	1,157,215
非支配株主に係る包括利益	29,042	37,439

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	419,031	412,838	2,672,065	△1,082	3,502,853
当期変動額					
新株の発行	420	420			840
剰余金の配当			△93,431		△93,431
親会社株主に帰属する 当期純利益			814,462		814,462
自己株式の取得				△77	△77
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	420	420	721,030	△77	721,793
当期末残高	419,451	413,258	3,393,096	△1,159	4,224,647

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	5,441	15,392	20,834	19,007	281,332	3,824,028
当期変動額						
新株の発行						840
剰余金の配当						△93,431
親会社株主に帰属する 当期純利益						814,462
自己株式の取得						△77
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△17,792	31	△17,760	△4,338	301,737	279,639
当期変動額合計	△17,792	31	△17,760	△4,338	301,737	1,001,433
当期末残高	△12,350	15,424	3,074	14,669	583,070	4,825,461

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	419,451	413,258	3,393,096	△1,159	4,224,647
当期変動額					
新株の発行					
剰余金の配当			△165,045		△165,045
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,034,396		1,034,396
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計			869,351		869,351
当期末残高	419,451	413,258	4,262,447	△1,159	5,093,998

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△12,350	15,424	3,074	14,669	583,070	4,825,461
当期変動額						
新株の発行						
剰余金の配当						△165,045
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,034,396
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	118,190	4,628	122,818	5,604	△1,921	126,501
当期変動額合計	118,190	4,628	122,818	5,604	△1,921	995,852
当期末残高	105,839	20,053	125,892	20,274	581,148	5,821,314

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,185,862	1,448,825
減価償却費	61,021	63,395
のれん償却額	13,841	33,219
固定資産除却損	3,651	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,870	20,802
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	18,899
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△613	777
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	6,540
新株予約権戻入益	△14,669	—
受取利息	△12,879	△51,493
有価証券利息	△62,598	△60,655
支払利息	1,984	2,894
為替差損益(△は益)	△16,670	△164,786
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,397	△30,864
持分法による投資損益(△は益)	△27,862	△27,084
売上債権の増減額(△は増加)	△145,022	△55,167
棚卸資産の増減額(△は増加)	△88,763	△113,775
長期未収入金の増減額(△は増加)	3,971	24,357
長期前払費用の増減額(△は増加)	—	△96,473
未払金の増減額(△は減少)	197,677	164,573
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,700	△28,529
その他	△24,838	△58,204
小計	1,123,525	1,097,251
利息の受取額	64,795	106,013
利息の支払額	△2,300	△3,134
法人税等の支払額	△179,122	△438,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,006,897	761,552
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△896,202	△600,190
定期預金の払戻による収入	—	963,165
保険積立金の解約による収入	219,721	—
有形固定資産の取得による支出	△17,315	△44,881
無形固定資産の取得による支出	△4,929	△45,844
投資有価証券の売却による収入	123,680	130,237
差入保証金の回収による収入	—	41,896
差入保証金の差入による支出	△17,438	△24,124
資産除去債務の履行による支出	—	△12,265
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△99,483	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による収入	20,000	—
事業譲受による支出	△183,050	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△855,018	407,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	550,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△28,560	△28,560
社債の償還による支出	△5,000	△10,000
自己株式の取得による支出	△77	—
株式の発行による収入	840	—
配当金の支払額	△93,269	△164,858
非支配株主への配当金の支払額	△9,001	△39,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	414,931	△42,779
現金及び現金同等物に係る換算差額	48,583	58,472
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	615,394	1,185,238
現金及び現金同等物の期首残高	1,731,399	2,346,793
現金及び現金同等物の期末残高	2,346,793	3,532,031

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、経営陣が経営資源の配分、投資計画の決定及び経営成績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社では、「デジタル人材事業」、「受託開発事業」及び「コンテンツプロパティ事業」の3つを報告セグメントとしております。

「デジタル人材事業」は、労働者派遣及び業務請負契約による技術サービスを提供しております。「受託開発事業」は、主にデジタル人材事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM (Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。「コンテンツプロパティ事業」は、主にライセンスサービスを提供しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発事業	コンテンツプ ロパティ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,027,233	3,275,053	513,725	8,816,012	—	8,816,012
セグメント間の内部 売上高又は振替高	413,893	2,065	—	415,958	△415,958	—
計	5,441,127	3,277,118	513,725	9,231,970	△415,958	8,816,012
セグメント利益	949,184	385,893	363,451	1,698,528	△674,346	1,024,182
セグメント資産	630,674	1,152,911	421,640	2,205,226	4,913,667	7,118,893
その他の項目						
減価償却費	2,986	23,477	4,807	31,271	29,750	61,021
のれんの償却額	—	13,841	—	13,841	—	13,841
持分法投資利益	—	—	27,862	27,862	—	27,862
固定資産除却損	—	3,651	—	3,651	—	3,651
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,052	12,577	3,701	17,331	4,913	22,244

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社グループでの現金及び預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発事業	コンテンツブ ロパティ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,898,158	3,903,257	416,021	10,217,437	—	10,217,437
セグメント間の内部 売上高又は振替高	224,590	16,055	—	240,646	△240,646	—
計	6,122,748	3,919,313	416,021	10,458,083	△240,646	10,217,437
セグメント利益	874,812	664,578	286,593	1,825,984	△728,604	1,097,380
セグメント資産	733,949	1,380,250	502,421	2,616,620	5,870,909	8,487,530
その他の項目						
減価償却費	2,623	23,212	6,151	31,987	31,407	63,395
のれんの償却額	—	33,219	—	33,219	—	33,219
持分法投資利益	—	—	27,084	27,084	—	27,084
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	27,114	13,059	20,641	60,816	29,909	90,725

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社グループでの現金及び預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産に係る有形固定資産及び無形固定資産の増加であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	768.47円	948.81円
1株当たり当期純利益	148.18円	188.02円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	147.85円	187.85円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	814,462	1,034,396
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	814,462	1,034,396
普通株式の期中平均株式数(株)	5,496,355	5,501,508
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	12,250	4,942
(うち新株予約権(株))	(12,250)	(4,942)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2021年1月15日取締役会決議による第6回新株予約権 304個 (普通株式 30,400株)	2021年1月15日取締役会決議による第6回新株予約権 304個 (普通株式 30,400株)

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,825,461	5,821,314
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	597,740	601,422
(うち新株予約権(千円))	(14,669)	(20,274)
(うち非支配株主持分(千円))	(583,070)	(581,148)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,227,721	5,219,891
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,501,508	5,501,508

## (重要な後発事象)

## (連結子会社の株式譲渡)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社E P A R Kテクノロジーズの株式のうち、当社保有分の全部を、株式会社EPARKに譲渡することを決議しました。これに伴い株式会社E P A R Kテクノロジーズは連結子会社から除外されることとなります。

## 1. 株式譲渡の理由

当社は、当社の受託開発事業を安定的な事業モデルに変革することを目的として、2018年5月に株式会社E P A R Kテクノロジーズの株式を取得し同社を連結子会社化しました。以降、当社と株式会社EPARKテクノロジーズは、技術者人材の交流や開発リソースの共有等、両社の事業推進においてシナジー効果を発揮すべく取り組んでまいりました。

こうした取り組みを通じ、受託開発事業の基盤の構築という当社の当初目的は一定程度達成することができた一方、株式会社E P A R Kテクノロジーズのさらなる成長のためには、同社とその主要顧客である株式会社E P A R Kとの関係を一層強固にする必要があるとの観点から、当社が保有する同社の全株式を株式会社E P A R Kに譲渡することについて協議を重ね、この度、当社と株式会社E P A R Kとの間で株式譲渡の合意に至ったことから、本件株式譲渡を実施することといたしました。

## 2. 株式譲渡の相手先の名称

株式会社E P A R K

## 3. 株式譲渡日

2024年5月31日(金)

## 4. 当該連結子会社の名称および事業内容

- (1) 子会社の名称：株式会社E P A R Kテクノロジーズ
- (2) 事業内容：システム開発

## 5. 譲渡株式数、譲渡価額および譲渡後の所有株式数

- (1) 譲渡株式数：普通株式7,000株(議決権所有割合：58.3%)
- (2) 譲渡価額：358百万円
- (3) 譲渡後の所有株式数：0株(議決権所有割合：0.0%)

## 6. 翌連結会計年度の連結業績に与える影響

本取引による翌連結会計年度の連結業績に与える影響は現在算定中です。

## 7. 当該子会社が含まれている報告セグメントの名称

受託開発事業